

問1 ワシントン会議で合意された、太平洋地域の軍備制限に関する取り決めに何という？

1. 軍費の拡大 2. 軍隊の派遣 3. 海軍の軍縮 4. 軍部の台頭

問2 大正時代に、主権が誰にあるかに関わらず、民衆の意向を尊重して政治を行うべきだという「民本主義」を提唱した人物は誰？

1. 植木枝盛 2. 中江兆民 3. 美濃部達吉 4. 吉野作造

問3 1919年、ベルサイユ条約で日本の山東省権益継承が決まったことに反対して、中国で起こった大規模な反日運動を何という？

1. 五・四運動 2. 光州学生事件 3. 義和団事件 4. 三・一独立運動

問4 大正時代、平塚らいてうが先導した、女性の社会的地位の向上と性差による差別からの解放を目指す運動を何という？

1. 自由民権運動 2. 女性解放運動 3. 労働運動 4. 農民運動

問5 1918年に日本で初めて衆議院の第一党を基盤とした本格的な政党内閣を組織した人物は誰？

1. 高橋是清 2. 田中義一 3. 原敬 4. 加藤高明

問6 第一次世界大戦後に制定され、世界で初めて労働者の権利である「社会権」を明文化した憲法を持つ国はどこ？

1. ドイツ 2. アメリカ 3. イギリス 4. フランス

問7 第一次世界大戦中、日本がドイツの権益を奪う目的で参戦する根拠となった、日本とイギリスが結んでいた同盟を何という？

1. 日露協約 2. 日仏協約 3. 日独同盟 4. 日英同盟

問8 大正末期から昭和初期にかけて、立憲民政党とともに二大政党制を形作り、交代で政権を担当した政党は何？

1. 立憲同志会 2. 立憲政友会 3. 立憲民政党 4. 憲政会

問9 平塚らいてうの活動が象徴するような、女性の社会的地位の向上と権利の獲得を目指す運動を何という？

1. 女性参政権運動 2. 自由民権運動 3. 第一次護憲運動 4. 労働運動

問10 賃金上昇が物価上昇に追いつかず、労働者が待遇改善を求めて引き起こした争いを何という？

1. 小作争議 2. 公害紛争 3. 米騒動 4. 労働争議

問11 1918年に米価が急騰し、大規模な暴動が発生した原因となった、日本が軍隊を海外へ派遣した出来事を何という？

1. 日中戦争 2. シベリア出兵 3. 満州事変 4. 北伐

問12 1912年に再び内閣を組織し、民衆から批判を浴びて第一次護憲運動の発端となった長州藩出身の政治家は誰？

1. 西園寺公望 2. 山県有朋 3. 桂太郎 4. 伊藤博文

問13 国際連盟の提唱国でありながら、国内の何による反対のため加盟できなかったアメリカの機関はどこ？

1. 議会 2. 政党 3. 裁判所 4. 内閣

問14 大正時代初期、特定の藩出身者が政治を独占する仕組みを批判して起こった政治的な動きを何という？

1. 軍部政治 2. 藩閥政治 3. 二大政党制 4. 政党政治

問15 日英同盟の解消と同時に太平洋地域の安全保障を目的に結ばれた条約を何という？

1. 五カ国条約 2. 九カ国条約 3. 日ソ基本条約 4. 四カ国条約

答え合わせ・解説

問1	答え 3 海軍の軍縮	ワシントン会議では、主力艦の保有制限が合意され、日本・アメリカ・イギリスなどの軍艦保有量に一定の枠が設けられました。これにより一時的に海軍の軍備競争が緩和されました。
問2	答え 4 吉野作造	吉野作造は雑誌『中央公論』などで、国家の主権がどこにあるかという形式論よりも、政治の結果が民衆の利益にかなうかどうかの方が重要であると説きました。これを「民本主義」と呼び、普通選挙の実施や政党政治を求める当時の民主化運動に大きな理論的支柱を与えました。
問3	答え 1 五・四運動	1919年5月4日、北京の学生が日本の権益継承に抗議するデモを行い、それが全国的なストライキやボイコット運動へと発展しました。これは中国のナショナリズムを大きく刺激し、近代中国の歴史における重要な転換点となりました。
問4	答え 2 女性解放運動	平塚らいてうは、文学活動である『青鞥』から出発し、やがて具体的な社会改革を目指すようになります。彼女は、女性の政治参加を認めない制度や、不平等な法律を批判し、参政権獲得などを求めました。これは当時の男性中心の社会に対する真っ向からの挑戦であり、後の社会変革の先駆けとなりました。
問5	答え 3 原敬	原敬は、衆議院で多数を占めた立憲政友会の総裁として首相に就任しました。華族出身ではなく、平民出身の首相として「平民宰相」と親しまれ、二大政党制の先駆けとなる体制を確立しました。積極的な教育政策やインフラ整備にも取り組みました。
問6	答え 1 ドイツ	ドイツのワイマルで制定された憲法は、個人の自由だけでなく、労働者が人間らしく生きるための権利（社会権）を憲法で保障しました。これにより、国家が社会的な弱者を保護し、生存権を保障する考え方が示されました。
問7	答え 4 日英同盟	1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本はこの同盟を根拠にイギリス側として参戦しました。日本は中国の山東省にあったドイツの拠点などを攻撃し、権益を引き継ぎました。また、混乱に乗じて中国に対して「二十一か条の要求」を行い、中国国内の政治や経済への影響力を強めようとしていました。
問8	答え 2 立憲政友会	立憲政友会は、伊藤博文を創設者とする保守的な性格の政党であり、原敬らを輩出しました。大正末期から昭和初期にかけては、対抗馬である立憲民政党と交互に政権を担う「憲政の常道」と呼ばれる時期を築きました。各政党が選挙で競い合い、政権交代を行う仕組みが定着しかけていました。
問9	答え 1 女性参政権運動	当初は文学的な自己主張から始まった運動でしたが、やがて平塚らいてうらは政治に関わる権利を求める運動へと発展させました。1920年代には新婦人協会などが結成され、女性にも選挙権を付与するよう国に強く働きかけました。
問10	答え 4 労働争議	当時の日本では米価が急上昇したことで、労働者たちは生活を守るために団結し、労働争議が頻発しました。これは労働組合の組織化が進むきっかけにもなりました。
問11	答え 2 シベリア出兵	日本は米の物資輸送などの準備を急いだため、国内の商人たちが米の買い占めを行い、価格が急騰しました。これに苦しんだ庶民の不満が爆発し、日本全国で米騒動と呼ばれる暴動が発生しました。
問12	答え 3 桂太郎	桂太郎は明治後期から大正初期にかけて計3回内閣を組織しました。3度目の内閣成立時、憲法に基づかない政治姿勢に反対する民衆が激しく反発し、第一次護憲運動が勃発しました。
問13	答え 1 議会	国際連盟はアメリカのウィルソン大統領が提唱したのですが、加盟の承認権を持つアメリカ議会で強い反対に遭いました。結果として、アメリカは条約を批准できず、国際連盟に加盟しませんでした。
問14	答え 2 藩閥政治	藩閥政治とは、特定の藩出身者が長期にわたって政府の要職を固める政治体制のことです。大正時代に入ると、これに対する国民の批判が強まり、「憲政擁護」を掲げて、憲法に基づいた政党中心の政治を求める運動（第一次護憲運動）が発生しました。
問15	答え 4 四力国条約	この条約は、日本、アメリカ、イギリス、フランスの4カ国が、太平洋における互いの領土や権益を尊重し、紛争が起きた場合は協議を行うことを定めたものです。これにより日英同盟は正式に解消されました。